



おれんじ通信たかた

～みんなで支えよう認知症～



第31号
R8年4月

発行元：陸前高田市福祉課 地域包括支援センター ☎ 54-2111

新年度が始まりました。これからも認知症関連の情報を提供していきますのでよろしくお願い致します。今号では、認知症に関する講座のご案内や病院受診のコツ等をお伝えします。

令和8年度 第1回 認知症を学ぶ講座（サポーター養成講座）ご案内

日程	令和8年5月19日（火） 10:00～11:30
会場	市役所2階会議室
内容	講話：「認知症の正しい知識と対応方法」 ビデオ：「目で見る具体的な対応方法」
申込み	5月18日（月）までにお電話ください
連絡先	☎（0192）54-2111（内線215）
その他	受講者には、講座修了後サポーターピンバッジを差し上げます 各地域や職場にも出向きますので、お気軽にご相談ください



↑
次回の開催予定：令和8年7月14日（火）10:00～11:30（内容は同じ）

令和8年度 第1回 認知症サポーター ステップアップ講座 ご案内

日程	令和8年5月26日（火）13:00～16:00
会場	陸前高田市民文化会館（奇跡の一本松ホール）ルーム2
内容	講話と寸劇
申込み	5月25日（月）までにお電話ください
連絡先	☎（0192）54-2111（内線215）
その他	受講者には、認知症サポータートートバッグを差し上げます

『ロバ隊長』
です！

『ロバ隊長』は、認知症の普及啓発のシンボルとして、全国で活躍しています。オレンジ色は、「温かさ・親しみ・希望」を表し、認知症の人と家族を支える温かい心（応援者）を意味します。ロバの歩みのように、急がず一步一步着実に「認知症になっても安心して暮らせるまち」の実現に向けて進む、という思いが込められています。

なぜ 認知症を 学ぶのか



誰もが認知症の知識を持ち、その上でちょっとした工夫や気づかひができれば、認知症の人や家族を応援できます。

一般的なイメージ

- ・認知症になったら何もわからなくなる、何も感じていない
- ・周囲に迷惑をかける困った人
- ・恥ずかしい
- ・普通の生活を送れなくなる



当事者からのメッセージ

- ・何もわからなくなって、常に誰かの助けが必要になるわけではありません。
- ・失敗しないように先回りしたりせず、**その人ができる方法を一緒に考えてください。**
- ・安心して元気がよみがえってくるような**前向きに暮らせる声掛け**をしてください。
- ・少し**先のご自身の事**と考えてみてください。



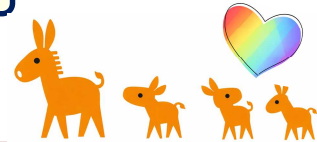
その人らしく暮らす

- ・認知症があっても活躍している人が増えています。
- ・認知症という生活の困難を抱えても、前向きに暮らしている人がたくさんいます。
- ・地域のサポート体制も充実しています。



【出典】
全国キャラバン・
メイト連絡協議会

なぜ、認知症は早期発見が大切なのか



それは**認知症が時間とともに進行する病気**だからです。完治が難しい病気ともされていますが、早期に発見して適切に対処すれば、その人らしい充実した暮らしを長く続けることができます。特に、軽い記憶障害はあっても日常生活は大きな支障がなく遅れている**軽度認知障害(MCI)**の段階で発見できれば、認知症への移行の予防や先送りができます。

早期発見による3つのメリット

メリット1

治療で改善が期待できる

認知症の原因になる病気はさまざまですが、早期に発見して早期に適切な治療を始めることで、年齢相応まで改善が期待できるものがあります。

メリット2

今の状態を維持できる

症状が悪化する前に適切な治療やサポートをすることで今の状態を維持し、進行のスピードを遅らせることができます。

メリット3

事前に準備ができる

本人や家族が話し合って治療方針を決めたり、利用できるサービスを調べたりして「認知症に向き合う準備」を整えることができます。

ワンポイントアドバイス「もしかして認知症？」受診のコツは？

事前にかかりつけ医に相談

強引に認知症の受診を勧めても拒否されることが多いです。事前に家族だけで主治医に相談し、さりげなく認知症の検査をしてもらいましょう。

必要に応じて
紹介状をもらおう

上手な受診の勧め方の例

- 全身の健康チェックとして誘う
- 他の不調な所を理由に誘う
- 家族が受診する際の「付添い」として一緒に行ってもらう
- かかりつけ医に専門医の受診を勧めよう



お困りの際は
地域包括支援センターへ
ご相談ください